

指導方法等の改善計画について

尾道市立 土堂小学校

1 教科について

国語

昨年度の課題

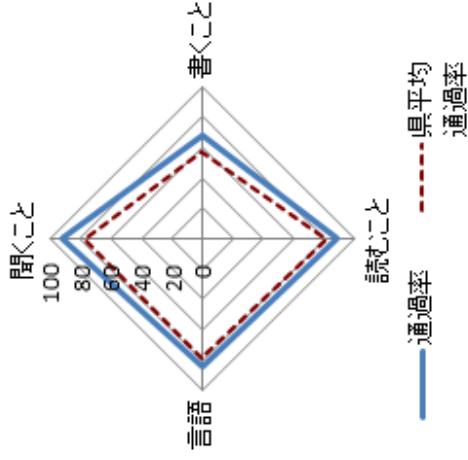
- ① 段落相互の関係をとらえ、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえること。
- ② 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。

昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

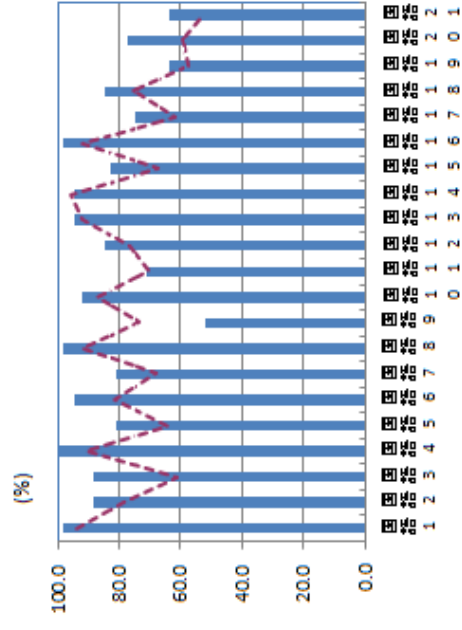
- ① 接続語や場面が変わる場所に注目し、登場人物の相互の関係に基づいた行動や会話、情景の変化をとらえて、想像豊かに読むことを大切にする。
- ② 地名や人名などの固有名詞を含めた簡単な単語を、日常的に読み書きする。
- ③ 読みの視点をもち、今までの読書経験や体験などに関係付け、感じたことや考えたことなどをまとめながら読む。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 83.9% 県平均 75.8%

領域別平均通過率(国語)



設問ごとの平均通過率(国語)



棒グラフ  
…土堂小

重点課題 ◎：「基礎・基本」定着状況調査  
◇：全国学力・学習状況調査

- ◎・・・文の中における主語と述語との関係に注意すること。
- ◎・・・文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。
- ◇・・・複数の記事を結びつけながら読み、読むこと。

重点課題に対応した改善内容及び方法

- ① 低学年において、ワークシートを作成し指導の工夫を図る。全ての学年において、読むことや書くことの指導の際に、主語・述語の関係に注意して文を読ませたり、書かせたりするなど指導の工夫をする。
- ② 全ての学年において、推敲する視点を明確にして文章を読み返す活動に取り組ませる。
- ③ 読むことの学習において、自分の課題を解決するための見通しを立て、目的をもって読む学習指導の工夫をする。

○県よりも平均よりも10ポイント以上上回る。

○通過率60%以下の児童の割合を0にする。

来年度の目標値

# 指導方法等の改善計画について

## 算数

### 昨年度の課題

- ① 図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、図形についての理解を深めること。
- ② 面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができること。

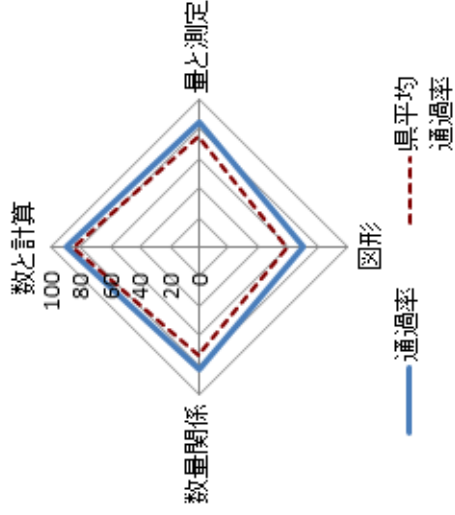
### 昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ① 対角線の性質を生かした算数的活動を仕組むことで、四角形の特徴を理解できるようにする。
- ② 様々な場面で単位を用いることを通して、実感を伴って単位の大さや面積の求め方を理解する。
- ③ 基本的な平面図形をカルタ作り作りしたりする場面で、辺を表す言葉や長さ、角の大きさ、図形を言葉で表現し合う活動を取り入れる。

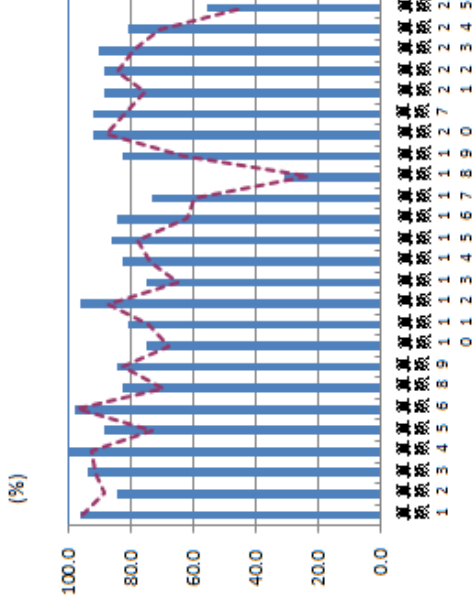
### 「基礎・基本」定着状況調査通過率

学校平均 83.4% 県平均 75.0%

#### 領域別平均通過率(算数)



#### 設問ごとの平均通過率(算数)



### 重点課題

◎：「基礎・基本」定着状況調査  
◇：全国学力・学習状況調査

- ◎・・・定義や性質に基づいてひし形になる理由を説明すること。(数学的な考え方)
- ◎・・・数量の関係を見付け、○や△を用いて式に表すこと。(数学的な考え方)
- ◇・・・必要な情報を用いて、判断の理由を数学的に表現すること。(数学的な考え方)

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 3～6年の図形の学習の際、図形の定義(約束)や性質を基にして、定規やコンパスを使って作図をさせたり、図形の性質を見だし説明をさせたりする指導を充実する。
- ② 伴って変わる量の関係を表した式や言葉、図、表、グラフなどを手がかりに、二量の変化を関連付けて自分の考えを説明したり、分かりやすく伝え合ったりできるように指導の充実を図る。
- ③ 判断の根拠に必要な情報を取り出し、説明することができるようにす

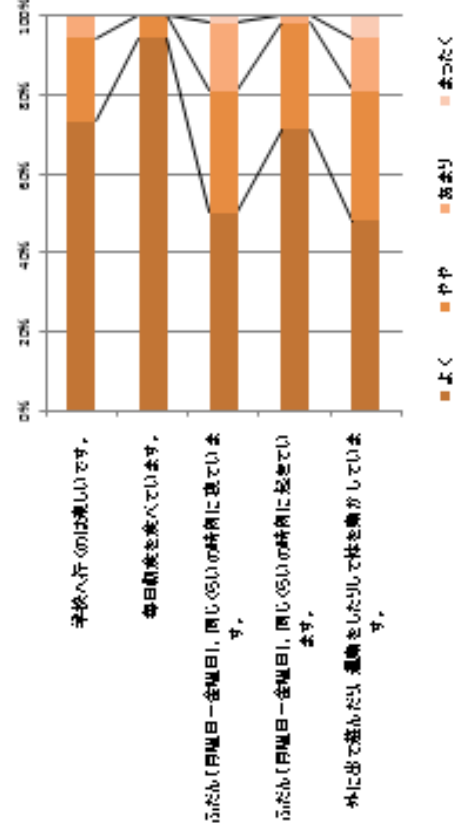
### 来年度の目標値

- 県よりも平均よりも10ポイント以上上回る。
- 通過率60%以下の児童の割合を0にする。

## 2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査、児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙、児童質問紙）

### （1）生活・学習

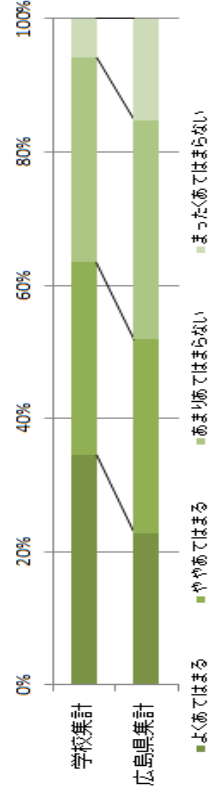
改善したい点（◎「基礎・基本」, ◇「全国」）	今後の具体的な取組の内容
◎・・・ふだん（月曜日～金曜日）、同じくらの時刻にねる。 ◇・・・毎日同じくらの時刻にねる。	○参観日の学級懇談会や学年・学級だより、個人懇談を通じて、家庭との連携に努め、規則正しい生活習慣が身に付くようにする。
来年度の目標値	・毎日同じくらの時刻にねる児童を90パーセント以上にする。



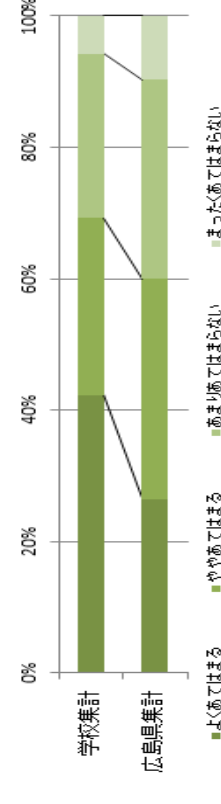
### （2）教科

国語の授業では、メモをとりながら聞くことがあります。

児童の回答と学校の指導についての課題（◎「基礎・基本」, ◇「全国」）	授業改善の方向性や具体的な取組
◎・・・国語の授業でメモを取りながら聞くこと。 ◇・・・国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫すること。	◎国語科でメモの取り方を具体的に指導する。 ◎全ての教科において、話し活動の場面でメモを活用する指導を行う。 ◇国語科の「話すこと」の学習で、話の組み立てメモを使って発表させるなど指導の工夫をする。
◎・・・問題は解けるが、考え方や解き方を説明することに抵抗を感じている児童がいること。 ◇・・・算数の授業で学習したことを、ふだんの生活の中で活用できないか考えること。	◎思考を形成し説明することの必要性が感じられるような発問や問題提示の工夫をする。 ◎考えを交流する効果的な場や方法を意図的に設ける。 ◇算数科の学習において、身に付けたものを生活や他教科等の学習、より進んだ算数の学習へ活用する工夫をする。



算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています。



- 来年度の目標値
- ・国語の授業でメモを取りながら聞く児童を80%以上にする。
  - ・算数の授業で学習したことを、生活や他教科の学習へ活用する児童を80%以上にする。

